



スマイル 天神

天神小学校
学校だよりNo.38
令和2年2月7日
発行者 蒲川法子



思いやりのある子・進んで学ぶ子
明るくたくましい子

共育しましょう！！ ～させば子育て講座～

2月4日、新1年生保護者説明会に合わせてさせば子育て講座を開催いたしました。講師は、佐世保市社会教育委員長の岩崎勢智子先生です。岩崎先生は、数多くの学校で子育て講座の講師としてひっぱりだこで、大学で講義もされています。



講座の中で、子ども時代は人格形成の基礎となる時期であること、子どもの成長はスパイラル式に緩やかに成長していくこと、その中で6歳は安定期であること、10歳の壁と言われる反抗期があることを教えてくださいました。子育ての不離についても「**幼児の時には手を離すな、学童の時は、目を離すな、青年の時には心を離すな**」の合言葉を確認されました。そして、学校は勉強するところ、家庭は寝をするところともいわれました。

家庭の大切な取組として以下の3つです。

- 1 「あいさつ」「返事」「靴並べ」は**社会のルールの第一歩**。子ども時代に確かなしつけを共育しましょう！子ども時代はしつけ（躾）時代。小学校低学年時代は、最も心の安定期、この時、社会生活の基礎を身に着け美しい心を育みましょう。
- 2 **生活リズムを守ることが脳の発達には大切**。「早寝・早起き・朝ごはん」には科学的根拠があります。脳の発達には、規則正しい睡眠と食事（栄養）と身体活動が必要です。人間の体内時計は発達と密接につながっています。成長ホルモンが午後10時～午前2時に出ているそうです。早寝で心と脳と体のリセットを。早起きして朝日を浴びるとセロトニン（幸せホルモン・やる気ホルモン）が出てきます。朝ごはんをしっかり食べるとやる気が出てきて脳がよく働きます。メディアは、付き合い方で恐ろしい敵になります。ルールを決めて正しく使い、味方につけましょう。
- 3 **コミュニケーションは、人と人を結ぶ生命線です。言葉一つでがんばることができるのです**。
配慮の無い言葉は、相手の心を傷つける暴力です。幼い子どもには、ポジティブな言葉のシャワーを浴びせるとやる気・本気・元気を発揮します。親子や地域・学校とのコミュニケーションを密にすることが、子育てのコツです。

とてもテンポよくわかりやすいお話であつという間の30分でした。家庭、学校、地域のそれぞれの役割を果たしながら子どもたちの健やかな成長を見守っていききたいものです。

第3回学校支援会議開催

2月5日、第3回学校支援会議を開催しました。地域や保護者の皆様など33名の参加がありました。今回は、学校教育目標の達成に向けての取組や子どもたちの様子、学校評価の結果、放課後子ども教室についてお伝えし、給食の試食もしていただきました。

育友会長さんからも放課後子ども教室についての地域の皆様の協力への感謝の気持ちをお話ししていただきました。地域の皆様から子どもたちの様子についてほめていただくことがあり、うれしく感じました。（あいさつについてはまだ満点とはいきませんが・・・）学校・家庭・地域の三者で子どもたちを見守っていく良さを改めて感じた会議でした。今後も連携を大切にしていきたいと思います。